

0.9mm が違いを生みます!

#LSSA [엘싸]

臨床ガイド 腹部

ニューポン

[ホームページ](#)

ニューポンは健康で美しい生活の波を起こすことです。

2021.09.15

V1.0

コンテンツ

01 LSSA - 腹部

- キーワード
- 解剖学

02 手順

- デザイン
- 切開
- 潜入
- LSSAの彫刻
- 願望

03 ヒント

- 要点
- 質疑応答
- 準備
- アフターケア

04 B&A

- 腹部と脇腹 1
- 腹部と脇腹 2

01 LSSA - 腹部

DEEP
SONO™

腹部脂肪彫刻

腹部の脂肪吸引は、身体の部位の中で最も頻繁に施術が行われる部位ですが、大量の吸引のため、へこみや不均一な結果が生じることがあります。

腹部は、その特徴により上腹部と下腹部に分けられますが、上腹部は線維組織が多く、治療が困難な部位です。特に表層部は、適切に治療すれば、さらに改善が期待できます。線維組織は貫通が非常に難しいため、外科医の労力が必要となり、疲労を伴います。

LSSAは、物理的な力を使わずに繊維質の領域に容易に浸透できるため、常に安定した通りの結果を得ることができます。さらに、そのバブル効果は、くぼみや不均一な結果の再手術に最も効果的です。



01 LSSA - 腹部

腹部 - キーワード

より簡単に

表層に優れている

小型から大型まで様々な用途に対応

不均一な結果に対する再手術に最も効果的

より安全に

- ・えくぼのない結果を期待する
- ・痛みが軽減
- ・局所麻酔のみ

もっと早く

腫れやあざが軽減される

肌の弾力性を高める

迅速な回復

01 LSSA - 腹部

腹部 - 解剖学

腹部の脂肪には表層と深層の2つの層があります。

表層

頂層とマントル層を有する。

へこみや壊死のリスクが高く、

出血

脂肪を過剰に除去すると凹凸ができる可能

性がある

十分な学習期間を経ずに脂肪吸引術を行わない

適切な治療すれば、患者の皮膚を引き締めるのに役立ちます

LSSAはこの分野で最も強力です。

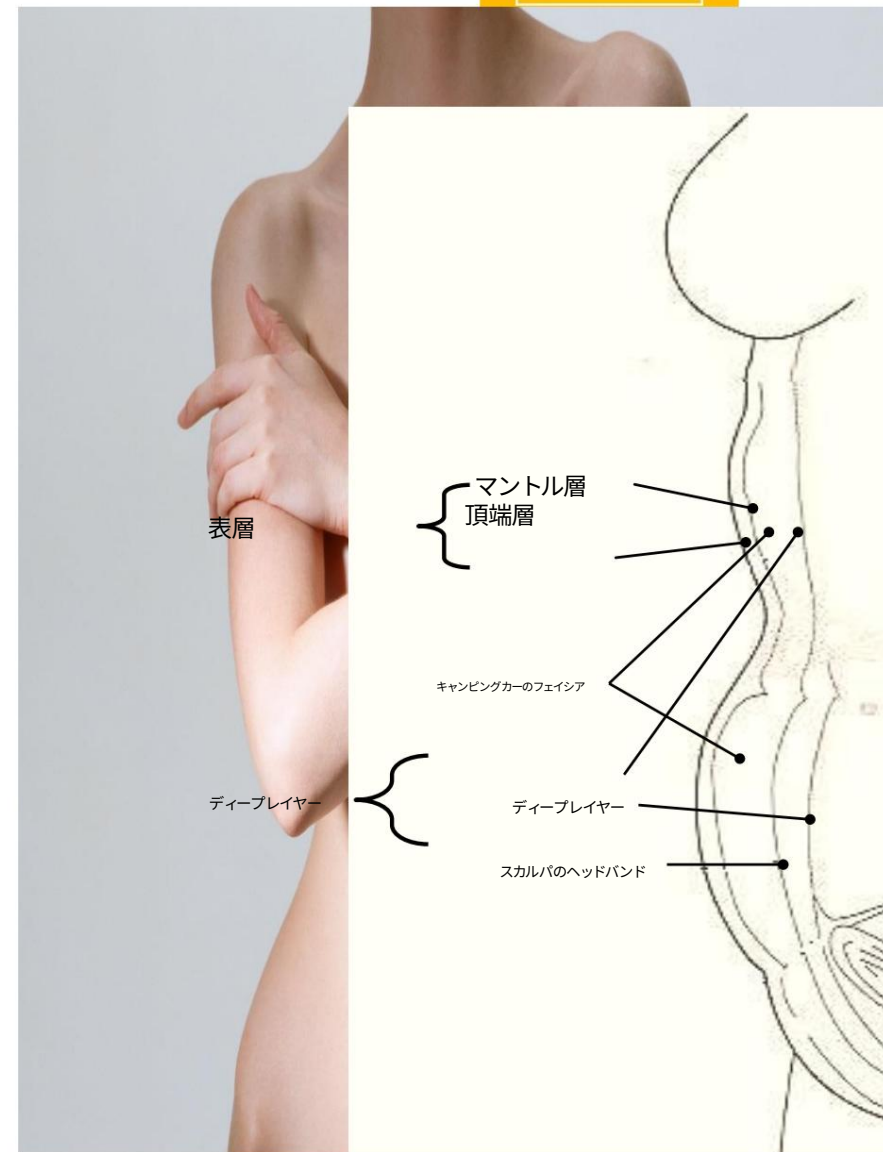
深層

深層が主な吸引領域です。

深層部では出血も痛みもほとんどありません

特に下腹部には筋膜剥離がある

深層部を中層と深層に分ける。



上腹部 - 解剖学

上腹部には繊維質で硬い脂肪が多く、大きな痛みを引き起こします。

LSSA は、この部位の痛みを軽減し、コントロールしやすい最も効果的な機器です。

肋骨上腹部脂肪層

他の腹部の厚さの基準

痛みや出血を軽減するためにマイクロカニューレを使用して吸引する

上腹部脂肪層

上腹部の脂肪層に集中

吸引量よりもライン作りに重点を置く

ウエスト周りをしっかりケアすればSライン作りにも役立ちます



下腹部 - 解剖学

下腹部には深層を中層と深層に分ける癒痕筋膜層があり（図1）が吸引の主な部位です。

臍周辺

過剰吸引するとドーナツ型になってしまうので注意

臍の周り

このエリアはベルトや曲げを避けるように注意してください

癒着しやすい

ウエストライン

ベルトのため繊維が密集している

過度の吸引によりえくぼが発生しやすくなるので注意してください。

仰向けではなく、立った状態で形を確認してください。



02手順 - 腹部

腹部 - デザイン

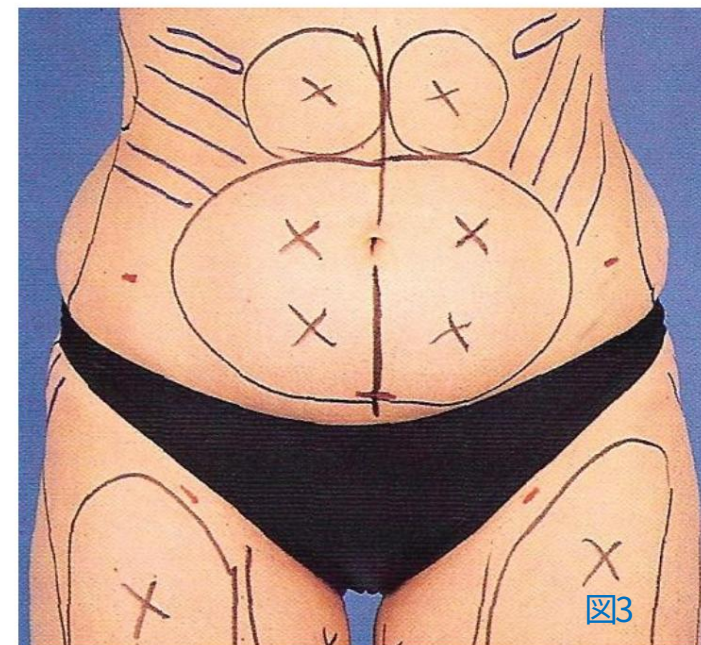
曲げた姿勢で正確な表面脂肪と皮膚の弾力性をチェックします（図2）



デザインとは願望と無願を分けることである。（図3）

プローブの動きを考慮した設計。

デザインは立った状態で行ってください。



02手順 - 腹部

腹部 - 切開

可能な限り、目に見えない、非対称

下腹部

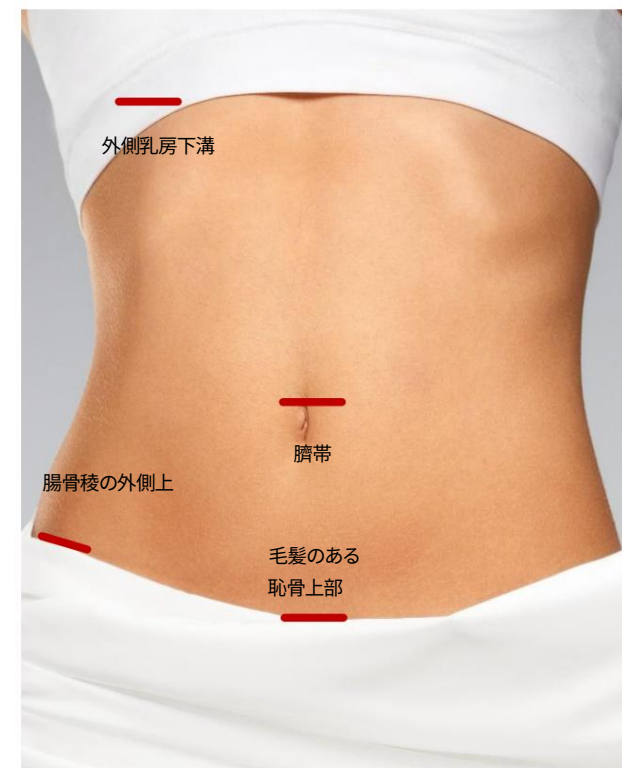
毛髪のある部位 - 毛髪 恥骨上部

腸骨稜の外側上

上腹部

臍帯

外側乳房下溝



02手順 - 腹部

腹部 - 浸潤

浸潤時には、カニューレを挿入しやすい位置になるように、枕やタオルなどを使って腹部を凸型に保ちます。

浸潤速度は120～150RPMが正常ですが、上腹部などの繊維質の領域では痛みを軽減するために通常よりも遅い速度が必要です。(100RPM未満)。

血管収縮を促進するために、腫脹浸潤後10～15分待ちます。

浸潤量は患者によって異なります。

痛みを軽減するためには、腫脹剤を浅層、中層、深層に均等に塗布する必要があります。

(図4)特に浅層の浸潤は非常に重要です。

表面層に浸透が良ければ、皮膚の色が白くなる。

エピネフリンの効果。(図5)

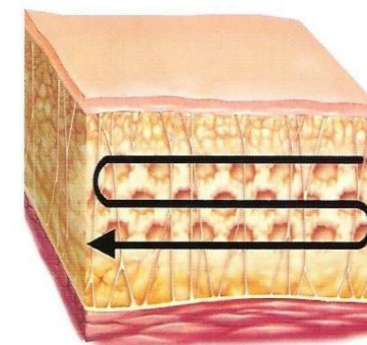
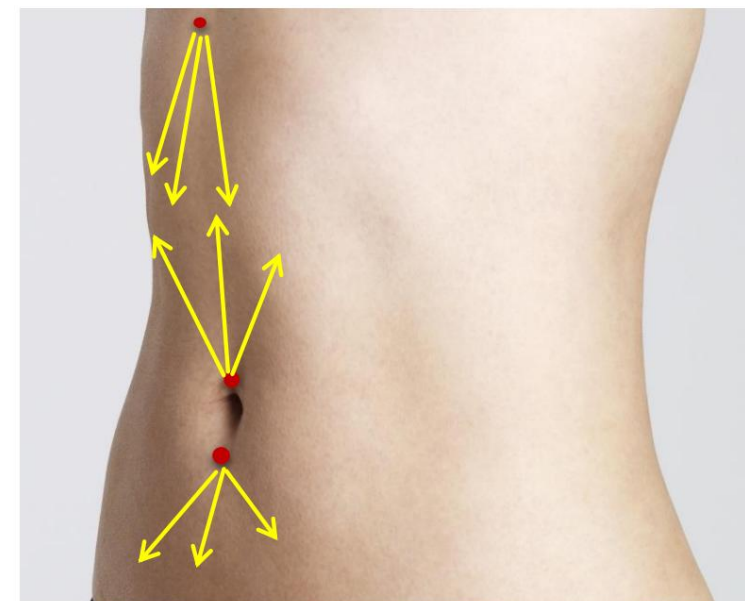


図4

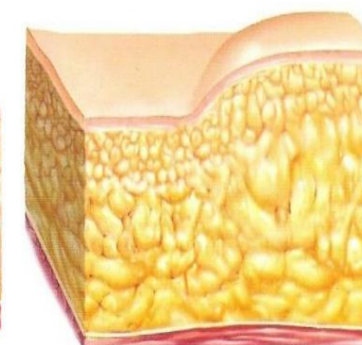


図5

02手順 - 腹部

腹部 - LSSA 彫刻

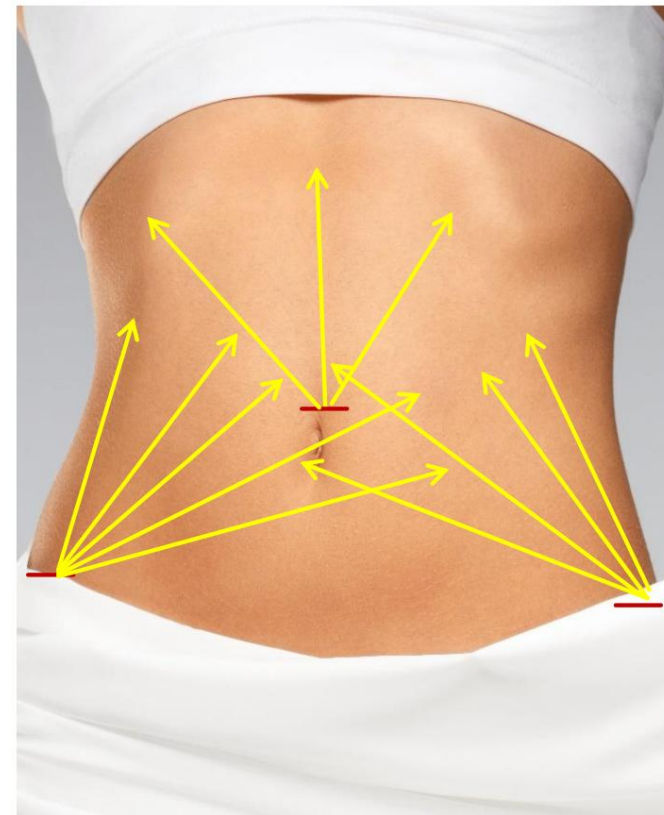
プローブのストロークを容易にするために、枕やタオルを使用して腹部を凸型に保ちます。局所麻酔の最大の利点は、体位を変える際に患者と外科医がコミュニケーションを取れることです。

切開部位を保護するために、生理食塩水を塗布し、湿らせたガーゼを当ててください。

エンドポイント : ストローク抵抗なしまたは腫脹100ccあたり1分

物理的な力を使わず、簡単で優しいプローブストロークが必要です。また、LSSA ストロークは通常、吸引ストロークよりも0% ~ 30% 遅くなります。

ガイド ハンドは、先端の端を確認し、プローブを安定した層に保つために非常に重要です。



2.9mmプローブ (293mm)



深層 (軟部組織)用3.7mmプローブ (298mm)



腹部 - 吸引

痛みや出血を軽減するには、マイクロカニューレを使用します。LSSAはこれを可能にします。

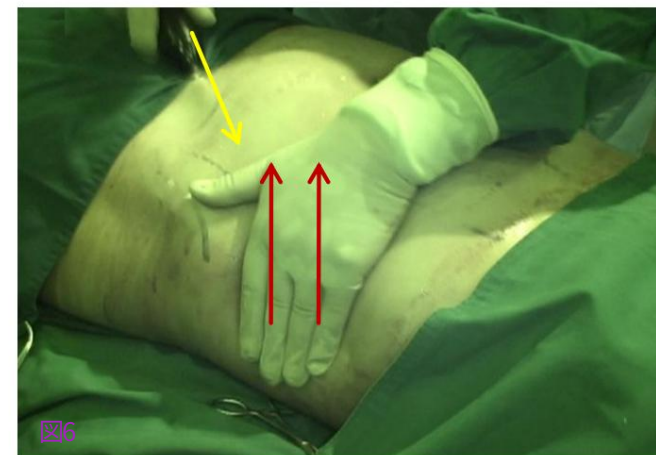
深層・中層は3.0mm、表層は2.5mm。

安全な吸引には、吸引ストロークの安定した速度が非常に重要です。

ガイドハンドの圧力を利用して内部空間を縮小します。これにより、ボディ内部の圧力が高くなります。(図6)

ピンチテストは最終テストに最適かつユニークな方法です。(図7)

吸引中に出血が始まった場合は、吸引を中止することがあります。



03 ヒント

腹部 – 要点

デザイン、正確な皮下脂肪の深さを確認してください。

上腹部、LSSA、マイクロカニューレは、痛みと出血を軽減する最も効率的な方法です。

手術後は、しばらく腹部を曲げたりベルトを着用したりしないでください。

ウエストラインは憧れではなくシェイプアップにのみ重点を置いています。

過度の吸引は避けてください。

吸引ではなく彫刻を行ってください。

腹部 – Q&A

Q: 腹部に注入する腫脹液の量はどのくらいですか？

A: 完全に患者様によります。しかし、通常、BMI 25~30 の患者様は腹部に 2000cc 必要です。

Q: 浸潤量と吸引量の比率はどれくらいですか？

A: LSSAの学習曲線前 2: 1

LSSAの学習曲線後 4: 3または1; 1

Q: 出血や痛みはどうですか？

A: LSSAは局所麻酔が可能な程度に痛みと出血を軽減します。

Q: 時間を使った LSSA はどうですか？

A: LSSAプローブのストローク抵抗がなくなるまで

腫脹液100ccあたり1分（通常）

腹部 - 準備

commons	浸潤	願望
腫れの解決策	2.0mm x 25cm 浸潤カニューレとハンドル	2.5mm吸引カニューレとハンドル
縫合糸セットとNo.11ブレード	50ccシリンジ (ルアーロック)	3.0mm吸引カニューレとハンドル
26G針	50ccシリンジ (浣腸用シリンジ)	4.0mm吸引カニューレとハンドル
4 x 4 ガーゼ	浸透ポンプ (ホースとハンドル)	吸引ポンプホースとハンドル
3φ、4φスキンプロテクター		
10cc、20cc ルアーロックシリンジ		
消毒剤とドレープ		

腹部 – アフターケア

手術後すぐに弾性バンドを使用してください。

ドレーンは非常に重要です。(誤嚥が大きい場合には遅延縫合が使用されることがあります)

約1週間後、縫合糸を抜くことができます。

手術後1週間後、5～6週間はリンパ循環のためのマッサージを行ってください。

(より早い回復のために、エンダモロジー、RF、外部超音波などのボディケア機器を使用できます。)

手術後は十分な水分を摂取してください。

浮腫を軽減するために、手術後は簡単な散歩や運動を推奨します。

腹部と脇腹



Before

After

年齢: 29 / 女性
1ヶ月後

LSSA II Ø2.9 連続モード 3Lv

04 B&A

DEEP
SONO™
LAB



Before

After



ありがとうございます。